

会員選任制度検討分科会（第4回）議事要旨（案）

1. 日 時：令和8年3月5日（木）10：30～12：00
2. 場 所：オンライン開催
3. 出席者：日比谷 潤子委員長、宇山 智彦委員、山田 八千子委員、狩野 光伸委員、山口 香委員、市川 温子委員、北川 尚美委員
4. 議事次第
 - (1) 前回議事要旨（案）について
 - (2) 分科会の検討事項について
5. 配布資料
 - ・資料1 前回議事要旨（案）
 - ・資料2 要検討事項
 - ・参考資料1 研究インテグリティ確保のための体制について
6. 議事概要
 - (2029年10月からの会員選考における外国籍の方の取扱い)
 - ・外国籍の方が会員候補者となる要件については、以下が考えられるのではないかと。
 - ・日本のアカデミアや産業界等での活動年数が10年程度あること。
 - ・現時点で日本で活動していること。（総会に直面出席できる環境にいること。）
 - ・活動に支障のない日本語コミュニケーション能力を有していること。
 - ・要件は公表されるため、対外的な説明の視点も考えるべきではないか。
 - ・外国籍会員の人数上限については、実質的にいきなり多数になることはない想定されるものの、全体の10%とするか、過半数を超えない範囲とするか等、検討が必要である。
 - ・外国籍会員の役員への就任については、会長にのみ制限をつけることも考えられるが、時機を見て検討すべきではないか。
 - (第27期における外国籍の方の活用)
 - ・外国籍の連携会員の要件については、会員に準じることとし、細かい要件等は緩和も考えられるのではないかと。
 - (2029年10月からの会員選考)
 - ・再任の人数上限は設けないが、選考の上で年齢のダイバーシティを確保することも必要ではないか。
 - (その他)
 - ・ダイバーシティを考える上で、何を共通の理念として持っておくかは考える必要があるのではないかと。

以上